

スポーツ施設の革新的構造デザイン

趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて多くのスポーツ施設が建設されている。スポーツ施設の建設に際しては、その機能性、解放性に加えて、経済性、施工性に関する徹底的な合理化が追求される。これらの要求を満たしながら質の高い建築を実現するには、革新的な構造デザインが必要となる。今年度の明建シンポでは、構造設計の最前線で活躍される実務者による講演、及び本学教員らとのパネルディスカッションを通して、スポーツ施設の革新的構造デザインについて議論したい。

日時・場所

2018年11月10日(土) 15:00-17:30 (14:30開場)

明治大学 生田キャンパス 中央校舎6階メディアホール (280席)

プログラムおよび登壇者 (進行: 小林正人 / 建築学科 専任教授)

1. 開会挨拶 (5分)
山本俊哉 / 建築学科 学科長
2. 趣旨説明 (5分)
小林正人 / 前掲
3. 講演1 (40分): 「パナソニックスタジアム吹田 (市立吹田サッカースタジアム) の構造デザイン」
奥出久人 / 竹中工務店
講演2 (40分): 「新豊洲ブリリアランニングスタジアムの構造デザイン」
萩生田秀之 / K A P
(休憩 15分)
4. パネルディスカッション: スポーツ施設の革新的構造デザインについて (40分)
奥出久人 × 萩生田秀之
コーディネーター 熊谷知彦 / 建築学科 専任准教授
5. 閉会挨拶 (5分)
平川 清 / 明建会会長・ひらかわ環境デザイン

講師略歴

奥出久人 / 竹中工務店

1989年明治大学大学院工学研究科建築学専攻博士前期課程修了後、同年 株式会社竹中工務店入社。2017年第28回 J S C A賞作品賞「市立吹田サッカースタジアム」。

主な作品 大阪ドーム・スーパーリングシステム / 大分県スポーツ公園メインスタジアム / 大阪ガス和歌山ビル / 北花田グランアベニュー6号棟 / 関西医科大学附属枚方病院 / 上海万博日本館

萩生田秀之 / K A P

2002年明治大学大学院理工学研究科建築学専攻博士前期課程修了後、2003年空間工学研究所入社、2010年よりK A P。土木学会デザイン賞2010「油津 堀川運河 (夢見橋)」。2017年第12回日本構造デザイン賞「新豊洲ブリリアランニングスタジアム」。

主な作品 堀川運河木橋「夢見橋」 / なるとう子ども園 / 安曇野市新本庁舎 / 大森ロッヂ運ぶ家 / 東京クラシッククラブ